

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【公開番号】特開2015-208645(P2015-208645A)

【公開日】平成27年11月24日(2015.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-073

【出願番号】特願2014-94266(P2014-94266)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月5日(2017.6.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の制御手順に従って、遊技の制御を行う制御手段を備えた遊技機において、  
所定の情報を記憶した記憶手段と、  
 その記憶手段の一部であり、前記制御手段が遊技に関する制御を行うためのデータ群を  
複数記憶したデータ群記憶領域と、  
 そのデータ群記憶領域に記憶されている複数の前記データ群のうち、1の前記データ群  
を構成するデータが前記制御手段による所定の制御に用いられるように設定するデータ群  
設定手段と、を備え、  
前記データ群記憶領域には、複数の前記データ群を構成するそれぞれのデータが、前記  
データ群記憶領域に対応付けられている複数のアドレスに所定の順序で記憶されているも  
のであり、  
前記記憶手段は、所定のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された規定情報とし  
て、複数の前記データ群のうち第1のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された第  
1規定情報と、前記第1のデータ群とは異なる第2のデータ群の先頭アドレスに対応付け  
て規定された第2規定情報と、を少なくとも記憶しているものであり、  
前記遊技機は、  
前記第1規定情報を用いて特定されたアドレスと、前記第2規定情報を用いて特定され  
たアドレスとの差分を用いて、1の前記データ群を構成するデータの個数である特定個数  
を演算する演算手段を備え、  
前記データ群設定手段は、前記記憶手段に記憶されている前記規定情報と、前記演算手  
段により演算された前記特定個数とを用いて、1の前記データ群を構成するデータのうち  
前記特定個数のデータが前記所定の制御に用いられるように設定するものであることを特  
徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記制御手段を収納することが可能な収納手段を有することを特徴とする請求項 1 記載  
の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 2 】

パチンコ機等の遊技機には、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて行われる抽選の結果が当たりとなった場合や、遊技状態を変更する場合等に、複数の設定値を制御プログラムに従って設定するものがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

しかしながら、かかる遊技機では、プログラムの設計者がミスしてしまう等によって制御プログラムに誤った値が規定されてしまうと、遊技機が誤動作してしまう虞があった。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本発明は、上記例示した問題点等<sup>等</sup>を解決するためになされたものであり、誤動作を抑制することができる遊技機を提供することを目的としている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、所定の制御手順に従って、遊技の制御を行う制御手段を備えるものであり、所定の情報を記憶した記憶手段と、その記憶手段の一部であり、前記制御手段が遊技に関する制御を行うためのデータ群を複数記憶したデータ群記憶領域と、そのデータ群記憶領域に記憶されている複数の前記データ群のうち、1 の前記データ群を構成するデータが前記制御手段による所定の制御に用いられるように設定するデータ群設定手段と、を備え、前記データ群記憶領域には、複数の前記データ群を構成するそれぞれのデータが、前記データ群記憶領域に対応付けられている複数のアドレスに所定の順序で記憶されているものであり、前記記憶手段は、所定のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された規定情報として、複数の前記データ群のうち第 1 のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された第 1 規定情報と、前記第 1 のデータ群とは異なる第 2 のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された第 2 規定情報と、を少なくとも記憶しているものであり、前記遊技機は、前記第 1 規定情報を用いて特定されたアドレスと、前記第 2 規定情報を用いて特定されたアドレスとの差分を用いて、1 の前記データ群を構成するデータの個数である特定個数を演算する演算手段を備え、前記データ群設定手段は、前記記憶手段に記憶されている前記規定情報と、前記演算手段により演算された前記特定個数とを用いて、1 の前記データ群を構成するデータのうち前記特定個数のデータが前記所定の制御に用いられるように設定するものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

## 【補正の内容】

## 【０００７】

請求項２記載の遊技機は、請求項１記載の遊技機において、前記制御手段を収納することが可能な収納手段を有する。

## 【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【０００９】

本発明の遊技機によれば、所定の制御手順に従って、遊技の制御を行う制御手段を備えるものであり、所定の情報を記憶した記憶手段と、その記憶手段の一部であり、前記制御手段が遊技に関する制御を行うためのデータ群を複数記憶したデータ群記憶領域と、そのデータ群記憶領域に記憶されている複数の前記データ群のうち、１の前記データ群を構成するデータが前記制御手段による所定の制御に用いられるように設定するデータ群設定手段と、を備え、前記データ群記憶領域には、複数の前記データ群を構成するそれぞれのデータが、前記データ群記憶領域に対応付けられている複数のアドレスに所定の順序で記憶されているものであり、前記記憶手段は、所定のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された規定情報として、複数の前記データ群のうち第１のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された第１規定情報と、前記第１のデータ群とは異なる第２のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された第２規定情報と、を少なくとも記憶しているものであり、前記遊技機は、前記第１規定情報を用いて特定されたアドレスと、前記第２規定情報を用いて特定されたアドレスとの差分を用いて、１の前記データ群を構成するデータの個数である特定個数を演算する演算手段を備え、前記データ群設定手段は、前記記憶手段に記憶されている前記規定情報と、前記演算手段により演算された前記特定個数とを用いて、１の前記データ群を構成するデータのうち前記特定個数のデータが前記所定の制御に用いられるように設定するものである。

## 【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【００１０】

これにより、遊技機の誤動作を抑制することができるという効果がある。

## 【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０８９５

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【０８９５】

１０	パチンコ機（遊技機）
１１０	主制御装置（制御手段）
２０２	ＲＯＭ（記憶手段、 <u>データ群記憶領域</u> ）
２０２ｇ	遊技結果設定テーブル（識別用情報記憶手段）
２０２ｈ	状態設定テーブル（記憶手段）
Ｓ５０２	識別用情報選択手段
Ｓ１４０４	情報群選択手段
<u>Ｓ３１１，Ｓ３１３</u>	<u>データ群設定手段の一部</u>
<u>Ｓ３１２，Ｓ３１４</u>	<u>データ群設定手段の一部、演算手段</u>